

# 令和元年度 技術家庭科 授業改善推進プラン

大田区立安方中学校

## 1. 昨年度の「改善プラン」の検証

### (1) 【成果】

#### (技術)

- ・安全指導の徹底を行い、安全に作業することができるようになった。また、生徒の意欲や技能による作業進度の差異については、協同作業で学び合うことができた。
- ・内容ごとの作業・評価プリントの活用により、生徒自身が自分の作業状況や評価を把握し、作業計画の効率化を図ることができた。

#### (家庭)

- ・課題に対してグループワークの時間を多く設けたところ、学習意欲が向上し、授業に積極的に参加する姿が見られ多様な考え方を共有する意識が高まった。
- ・家庭生活中で、生徒にとって身近で当たり前になっていることを、改めて問題提起し考えさせたところ、人や物に対して感謝の気持ちを持つ姿勢が身についた。

### (2) 【課題】

#### (技術)

- ・「主体的・対話的で深い学び」を取り入れた授業を実践し、思考力・判断力・表現力の向上を図る。
- ・ICT機器を効果的に活用し、安全でわかりやすい授業の展開を目指す。

#### (家庭)

- ・数人でワーキングさせる際に、班によって途中から話し合いが脱線してしまう姿が見られること。
- ・実習では学びと作業がつながらず、途中から好きなように作ってしまう生徒がいること。

## 2. 授業改善のポイント

※改善内容に観点【関】【工】【技】【知】を記入。

### 1 学年

#### (技術)

- ・【関】身近な生活の中の技術に関心を持ち、生活を振り返る。
- ・【工】技術の見方・考え方を身近な生活に活かし、よりよい生活をしようとする思考力を育成する。
- ・【技】ICT機器を効果的に活用し、安全に作業できる技能の習得を目指す。
- ・【知】安全に作業できるために工具の使い方や作業手順についての知識の習得を目指す。

#### (家庭)

- ・作業の際には、時間管理を徹底し、毎回同じ時間に終了するという習慣を身につける。【関】
- ・学習内容をより定着させるため、ワークシートや板書の改善に加え、ICT機器等を活用し写真や実物などを用いて視覚的に理解を促せるよう工夫する。【知】
- ・より豊かな家庭生活を営むためにはどのような工夫ができるか、グループワークを取り入れ考えさせることで、多様な視点からの理解を促し自分の意見を持たせる。【関・工・知】
- ・縫い物等の基礎・基本を定着させるために、実習に向けた講義の時間を多く設け、実習時には講義で習得した学習内容を振り返りながら作業ができるように展開する。【技】

## 2 学年

### (技術)

- ・【関】身近な社会の中の技術に関心を持ち、社会の抱える問題を振り返る。
- ・【工】技術の見方・考え方を身近な社会に活かし、よりよい社会を築こうとする思考力を育成する。
- ・【技】ICT機器を効果的に活用し、安全にかつ効率よく作業できる技能の習得を目指す。
- ・【知】様々な技術的事象についての知識を習得し、理解した内容を作業に活かすことができるようにする。

### (家庭)

- ・参加型の授業を心がけ、生徒が意見を述べる機会を多く設けることで積極的に授業に臨む姿勢づくりをする【関】
- ・体験的な授業を豊富に取り入れ、日常生活の中での体験と授業内の知識・技能を結び付ける指導を重視し、発見する喜びと学習内容の定着を図る。【技・知】
- ・学習内容をより理解させるため、ワークシートや板書の改善に加え、ICT機器等を活用し写真や実物などを用いて視覚的に理解を促せるよう工夫する。【知】
- ・実習では、自分らしい作品づくりを目標に生徒の個性を生かせる教材を用い、多様な工夫例を提示しながら個々にあった指導を展開する。【工・技】

## 3 学年

### (技術)

- ・【関】グローバルな社会の中の技術に関心を持ち、国際社会の抱える問題を振り返る。
- ・【工】技術の見方・考え方をグローバルな社会に活かし、持続可能な社会を築こうとする思考力を育成する。
- ・【技】ICT機器を効果的に活用し、安全にかつ効率よく作業できる技能の習得を目指す。
- ・【知】自主的に安全かつ効率よく作業することができるように習得した知識を活用することができる。

### (家庭)

- ・振り返り学習を重視し、衣食住・消費・家族の単元別の学びにつながりを持たせ、教科への学習意欲と理解を深めさせる。【関・知】
- ・より豊かに生活を営むためにはどのような工夫ができるのか、グループワークを取り入れ考えさせることで、多様な視点からの理解を促し家庭生活の課題を発見させる。また、他者と意見を交わす行為により、自己理解へとつなげる。【関・工・知】
- ・実習では、生徒の個性を生かせる教材を用い、多様な工夫例を提示しながら、個々にあった指導で自分らしい作品づくりを目標に展開する。【工・技】